

23年度学位授与式 式辞

皆さん、ご卒業誠におめでとうございます。また、ご父母、ご関係の皆さまにも心よりお祝い申し上げます。上智大学を代表して、皆さんにお祝いとエールを送るこの機会を、私自身とても楽しみにしていました。とりわけ、コロナ禍の困難を乗り越え、学位に到達した皆さんに対して、本日は心からの敬意を表しつつ式辞を述べさせていただきます。

私たちの日常の過ごし方は、ほぼ3種類に大別できるかと思います。一つは、その時々にな置かれている状況下で、いわゆる日常としてこなす時間。例えば、皆さんのこれまででは、大学に通い、授業を受け、サークル活動に参加し、家の内外で勉強をし、といったところでしょうか。今一つは、自分自身で意図的に創り出す挑戦あるいは楽しみを創出する時間です。クラブ活動で大きな目標を掲げ、自分なりの創意工夫で努力を積み重ねるといった時間や、休日に自分自身のリフレッシュのために日頃関わらない何かに身を置く時間などです。そしてもう一つは、自分の予期しないあるいは期待しない外的要因によって、何かに対応せざるを得ない、あるいは向き合わねばならない時間です。この対応に費やす時間は、できるだけ少なくしたいと考えるのが私たちの日常における願いでもあるでしょう。しかしながら、この時間の出現を皆無にすることはできませんし、私たちは日々においても大なり小なりこの予期せぬ、期待しない外的要因を抱え、その対応に追われているような気がします。

さて、近年において、予期せぬ、期待せぬ向き合いをせざるを得なくなった最大の事象はコロナ禍であろうと思います。これは皆さんにとってということにとどまりません。私たち大学の教職員にとっても、日本社会にとっても、そして全世界のすべての人々にとっても、同時に起きた、まさに予期せぬ、期待せぬ災禍であったと言えます。もちろん大学も例外ではありませんでした。学びの環境の維持、教育の質の維持、新たな教育様態の模索など、予期しなかった対応に追われました。この環境下において、教職員の懸命な、献身的な努力、尽力があったことは、是非皆さんにお伝えしたいと思います。そして学生を含む多くのボランティアな活動が奏功を果たしてくれました。今でも支援を頂いた多くの方々への感謝の気持ちを忘れたことはありません。

しかしながら皆さんの立場は、また特別なものであったと容易に推察されます。この年に大学入学の節目を迎えていた皆さんにとっては、非日常が突如出現し、異次元とも言える生活様式に身を置き、未経験の学びを模索し、周囲とのコミュニケーションの遮断などに向き合うこととなったのだと思います。大学として、この混乱が生じたことを大変遺憾に思います。皆さんに対する私たちの支援が充分ではないと感じられたことがあったとすれば、この場で改めてお詫びをお伝えしたいと思います。皆さんの理解と協力があって、この大学が今なお上智大学らしくあり続けています。私自身、大学運営において生じた様々な無念の想いをすべて晴らすことはできませんが、もし皆さんが大学の思いを受け止めてくださるとすれば、大学を代表して改めて謝意をお伝えしたいと思います。今日この場を借りて、大学の皆さん

への想いをお伝えさせていただきました。

先ほどカトリック・イエズス会センター長から、ヨハネによる福音書の一節が紹介されました。平和を愛する人の継続的な学びについて説かれたものです。真の平和の探求者として実存的な学びが要請されています。残念ながら私たちの日常の中には、平和を損なう様々な事象のニュースが溢れています。皆さんが皆さん自身の役割について考え、広い意味での学びを継続し、平和の探求者であり続けてください。日常が非日常となる大きな転換は、様々なレベルでの平和という二文字がその日常から消えるということにも言い換えられると思います。

日常における時間の使い方は、私たちの人生の軌跡でもあります。冒頭で申し上げたように、その時間の費やし方はいくつかのカテゴリーに振り分けられ、無意識のうちに行われるその配分そのものが人生を創っていくこととなります。しかしながら、これからの地球社会を展望するに、日々の日常の過ごし方の工夫のみならず、突然出現する非日常に対する、対応力、耐性力、突破力を備えておく必要があるかと思えます。自然災害、感染症、国際関係の複雑化、グローバル経済の不安定性など、非日常をもたらす多くの要因が顕在化しているように思われます。すでに大きな困難を乗り越えて、この学位授与式を迎えている皆さんはこれからの社会の動向に臆することはありません。困難は、ときにチャンスに転じ、またチェンジを促す機会ともなり得ます。皆さんの、前向きな、積極的な向き合い、挑戦が大事なのです。そして、For Others, With Others を教育精神とする上智大学の卒業生、上智大学大学院の修了生として、その挑戦にはぜひ弱者への眼差しを、眼光鋭く向けていただきたいと切に願い、私からの式辞とさせていただきます。

ご卒業、誠におめでとうございます。

2024年3月25日
上智大学長 曄道佳明